

数学科

科 目 名	単 位 数	学 年	学 科
数学演習	1 単位	2 年	普通科

教 科 書	数学演習（北宇和高等学校三間分校）	副 教 材	な し
-------	-------------------	-------	-----

科目の目標	基礎的・基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
-------	--

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	第 1 章 数と式	・ 式の展開及び因数分解、無理数の計算、1 次不等式の解法を理解できる。	・ 数や式を多面的に捉え、目的に応じて変形できる。
2 学期	第 2 章 2 次関数	・ 2 次関数の値の変化やグラフの特徴、2 次不等式について理解できる。	・ 関数関係から事象を的確に表現し、特徴を式、グラフ等から考察できる。
	第 3 章 図形と計量	・ 三角比の意味と相互関係、正弦定理や余弦定理について理解できる。	・ 図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。
3 学期	第 4 章 集合と命題	・ 集合と命題に関する基本的な概念を理解できる。	・ 集合の考えを用いて命題を論理的に考察できる。
	第 5 章 データの分析	・ 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解できる。	・ データの散らばりや変量間の関係等に着目し、適切な手法で分析できる。
1 既習内容の復習から入ります。途中の細かい計算も省略せず説明するので、まず説明をよく聞く習慣を身に付けよう。 2 その日に学習した内容を必ずノートで確認しよう。毎日の課題は確実にこなし、提出物は遅れずに提出しよう。			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしているとともに、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
定 期 考 査	1 学期中間・期末 2 学期中間・期末 学年末 (計 5 回)	
評 価 方 法 (観点番号)	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（定期考査、小テスト、ノート、課題） ②思考・判断・表現（定期考査、小テスト、ノート、課題） ③主体的に学習に取り組む態度（授業態度、定期考査、ノート、課題）	